

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	公民館・図書館機能の充実	コード	作成者	役職	備前市立図書館長
		02-02-07		氏名	高橋清隆
			電話	64-1134	
			このシート作成に要した時間	2.0	時間

この施策の アピール ポイント	公民館、図書館では、生涯学習の拠点として、気軽に来館いただける環境づくりを行っていきます。公民館では、市民の生きがいや自己実現を促進するための事業を展開するとともに、図書館では生涯を通じて読書に親しむことのできる環境の整備を行っていきます。
-----------------------	--

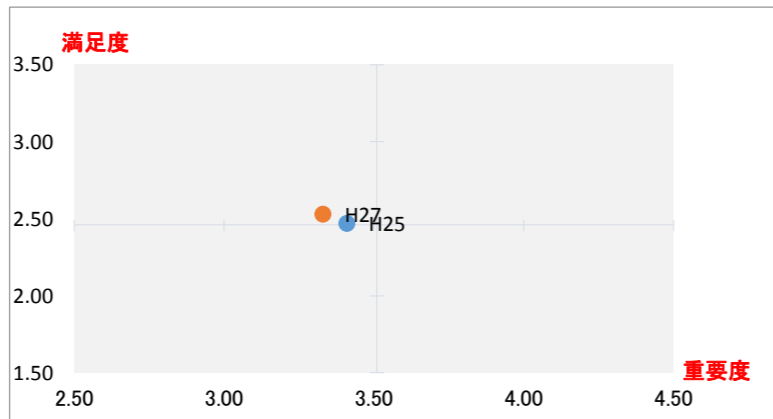
この施策の 平成27年度の 施政方針	公民館は、各地域における生涯教育と文化振興の中心施設としての役割とライフラインの機能を併せ持っていると考えています。今後は、的確な市民ニーズの把握を行い、魅力ある公民館活動を実施していきます。また、図書館は、他の図書館と連携するなど、魅力ある図書館を目指します。
--------------------------	---

＜備前市総合計画の内容から記載する＞

① 政策の体系	基本構想（大項目）	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画（中項目）	自分を磨ける・自分を変えられるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	公民館、図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習の拠点です。公民館では市民に情報交換の場として気軽に利用していただき、図書館では豊富な知識や多様な情報を市民に提供する社会教育施設として、利用の場を提供します。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	生涯学習施設である公民館では、文化イベントや各種講座の開催等さまざまな事業を行っています。利用者の高齢化や趣味趣向の多様化による参加者減少や固定化、事業のマンネリ化などの課題があります。地域の学習拠点として、すべての市民の生きがいや自己実現を促進する公民館事業を展開していくことが必要です。また図書館は、本館、日生分館、吉永分館の3館ですが、各館として閲覧室、書庫が狭いことから、広くて蔵書の充実した図書館が望まれています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 公民館における学習機会の拡大・充実を図ります。 公民館事業における若年層との交流促進を図ります。 地区公民館とのネットワークを強化し、地区公民館の主体的事業を支援します。 図書館書籍の充実を図ります。 幼少期から本に親しむ活動を推進推進します。 図書館機能の充実を図ります。 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		3.41	3.33
満足度 (%)		2.47	2.53



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	「公民館・図書館機能の充実」に対する市民意識調査は、重要度、満足度も大きな変動はありません。しかし、利用者の減少や固定化傾向が続いている現状から、運営方法の見直しを考える必要があります。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H25	H26	H27			H28	H29
公民館の利用者数	目標	人	100,000	100,000	100,000	3館の利用者数の合計、備前市民センター、日生市民会館、吉永地域公民館の利用者含む。	H28	100,000	
	実績	人	84,237	90,036	78,662		H32	100,000	
	達成率	%	84.2	90.0	78.7		H34	110,000	
	ベンチマーク						—	—	
図書館の利用者数	目標	人	28,000	28,000	28,000	3館（本館・分館）の利用者数の合計	H28	30,000	
	実績	人	22,244	20,585	19,834		H32	30,000	
	達成率	%	79.4	73.5	70.8		H34	32,000	
	ベンチマーク						—	—	
1人当たりの貸出数	目標	冊	3.5	3.5	3.5	市民1人当たりの図書貸出冊数（貸出冊数/人口）	H28	3.5	
	実績	冊	2.7	2.5	2.4		H32	3.5	
	達成率	%	77.1	71.4	68.6		H34	3.8	
	ベンチマーク						—	—	
公民館講座募集定員の充足率	目標	%	85.0	85.0	85.0	(応募者数/定員)	H28	85.0	
	実績	%	94.4	88.8	68.0		H32	85.0	
	達成率	%	111.1	104.5	80.0		H34	90.0	
	ベンチマーク						—	—	

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	学校図書館運営事業	幼少期から本を選ぶ機会を作り、読書習慣を手に入れるため
子育て支援課	次世代育成支援対策事業	〃

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	社会教育施設をたくさん利用していただくことは、社会教育法上の学術、文化などによる住民の教養の向上などの目的達成に欠かせないものです。指標設定の妥当性は高いと考えています。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	今までと同じやり方では、利用者が増加に転じることは難しいと感じております。目的達成に必要な事業欄でもふれましたが、幼少期から本に触れ合う機会を増やして知的好奇心をくすぐることが大切です。また、図書館行事と公民館行事の連携や図書館と市の事業の連携など工夫した取組が必要だと感じています。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	公民館、図書館利用者、本の貸し出し数、講座の充足率とも率が低下しています。人気の高い館がどんな取り組みをしているのかを根本的に学ぶことがスタートです。このままでは中長期の目標が達成できないことは明らかです。	
進行年度(H28年度)の取組内容 (課題解決状況)		図書館については、図書館構想作成がスタートしています。皆さんに愛される備前市なりの構想を策定していきます。公民館についても、岡山シンフォニーホールとの連携で事業ができていますが、年1回だけでは、お客様は定着しません。情報発信もfacebookの活用を始めています。	
翌年度(H29年度)の取組目標		図書館については、図書館構想に基づいて、着実に実行に移していきます。公民館については、新規事業を企画するとともに、魅力ある講座や地域を巻き込む取り組みの開発を進めます。	
二次評価者コメント		公民館と図書館は生涯学習の核となるものです。上記の取組目標のとおり攻めの姿勢で取り組んで行きましょう。	基本施策への 貢献度 4 やや高い

施策構成事務事業の評価

No. 1

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位: 千円, 人)											施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆☆
			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01 市民センター管理運営事業	市民センター管理運営事業	単市	24,794	11,022	1.34	42,462	10,785	1.33	29,952	9,268	1.23	54,658	☆☆☆☆☆	
	公立文化施設協議会会費	単市	33	106	0.01	33	108	0.01	33	18	0.01	33	☆☆	
02 市民会館管理運営事業	市民会館管理運営事業	単市	27,468	6,394	0.75	29,522	7,676	0.86	36,412	4,824	0.60	15,693	☆☆☆☆☆	
03 中央公民館運営事業	中央公民館運営事業	単市	353	7,830	0.84	406	11,990	1.43	447	10,799	1.35	478	☆☆☆☆☆	
	文化協会活動補助金	単市	240	560	0.06	240	377	0.04	240	531	0.07	240	☆	
	県公民館等振興会市町村負担金	単市	34	79	0.01	34	108	0.01	34	0	0.00	34	☆	
	県文化連盟会費	単市	30	94	0.01	30	0	0.00	30	0	0.00	30	☆	
	中央公民館運営審議会事業	単市	130	372	0.04	137	297	0.03	117	145	0.02	169	☆☆☆	
	市民講座	単市	351	1,972	0.25	963	563	0.07	1,295	2,374	0.27	1,090	☆☆☆	
	文化祭	単市	259	2,000	0.21	287	2,284	0.27	276	1,908	0.24	287	☆☆☆	
04 日生地域公民館運営事業	日生地域公民館運営事業	単市	1,317	9,687	1.16	1,474	4,768	0.53	1,205	6,504	0.80	1,207	☆☆☆☆☆	
	市民講座	単市	193	1,209	0.14	194	1,434	0.17	157	3,211	0.38	294	☆☆☆	
	文化祭	単市	0	1,340	0.16	9	1,124	0.13	8	1,576	0.20	8	☆☆☆	
05 吉永地域公民館管理運営事業	吉永地域公民館管理運営事業	単市	8,724	10,520	1.25	8,350	10,921	1.50	8,095	5,435	0.88	18,458	☆☆☆☆☆	
	市民講座	単市	159	1,489	0.20	177	1,780	0.25	150	1,817	0.34	306	☆☆☆	
	文化祭	単市	0	1,665	0.22	0	1,357	0.26	0	892	0.17	0	☆☆☆	
06 自治公民館等整備事業	自治公民館等整備事業	単市	8,506	995	0.11	4,193	1,027	0.11	5,432	2,252	0.58	3,383	☆☆☆☆☆	
07 地区公民館管理運営事業	地区公民館管理運営事業	単市	43,220	4,368	0.49	44,088	4,510	0.51	43,534	9,461	1.79	52,349	☆☆☆☆☆	
	地区公民館運営審議会事業	単市	368	396	0.04	344	216	0.02	344	114	0.03	368	☆☆☆☆	
	地区文化祭運営事業	単市	126	94	0.01	126	80	0.01	126	158	0.03	126	☆☆☆☆	
	地区体育祭運営事業	単市	0	185	0.03	0	269	0.03	0	172	0.02	0	☆☆	
	地区社会体育事業	単市	270	193	0.02	270	181	0.02	270	177	0.04	270	☆☆	
8 図書館運営事業	図書館運営事業	単市	18,898	10,371	1.28	13,630	9,798	1.20	13,711	11,481	1.51	32,883	☆☆☆☆☆	
	県図書館協会負担金	単市	12	79	0.01	12	0	0.00	12	292	0.07	12	☆	
9 視聴覚ライブラリー運営事業	視聴覚ライブラリー運営事業	単市	250	449	0.05	277	301	0.03	67	148	0.02	70	☆☆	
	県A V L連絡協議会負担金	単市	7	79	0.01	7	108	0.01	7	0	0.00	7	☆	
この施策に費やした資源 (単位: 千円, 人)			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
			135,742	73,548	8.70	147,265	72,062	8.83	141,954	73,557	10.65	182,453		

備前市事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	昭和56年～		根拠法令・例規等
総合計画	大項目 基本構想	02 自己実現政策「生涯学習・歴史・文化」	備前市市民センター設置条例 備前市市民センター設置条例施行規則
	中項目 基本計画	02 自分を磨ける・自分を褒められるまち	担当課(室) 生涯学習課(中央公民館)
	小項目 施策	07 公民館・図書館機能の充実	職・氏名 館長補佐 横谷 重樹
事務事業名		01 市民センター管理運営事業	電話 64-1133
			このシート作成に要した時間 3.0 時間

事業の目的	Plan	
対象(誰・何に対して)	公民館活動等のグループ活動団体・定期講座の参加者・文化協会や貸館で利用する会社、個人、各種団体等。	
目的(何のために)	市民の文化及び教養の総合的発展、向上のために場所と機会の提供をおこない市民生活と地域を潤いのあるものにする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	大勢の個人・団体が利用することにより、地域及び個人が文化的に発展、向上する。	

事業の実績				Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	市民センター管理運営事業	中央公民館、図書館、視聴覚ライブラリー、ホールの複合施設を一括管理	◎	
	公立文化施設協議会会費	公立文化施設が共通の問題を研究し、地方文化の向上を目的とした協議会。	○	

決算額	事業費等	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
	直接事業費	千円	24,827	42,495	29,986
	必要人員	人件費	1.35人	11,128	10,893
	事業費	計	35,955	53,388	39,254
	国県支出金	千円			
	受益者負担		2,976	2,104	2,529
	繰入金				
	市債				
	その他(一般財源)				
	受益者負担比率	%	8.3%	3.9%	6.4%
結果指標名	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
年間利用者数	説明	市民センターの年間利用者数			
結果指標量		56,748	58,603	46,841	
対前年比	%	—	103.3%	79.9%	
活動コスト	円	24,827,000	42,495,000	29,986,000	
単位当たりコスト		437	725	640	

(平成27年度事業)

事業の成果	成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
市民センター利用人数	目 標 値 (A)	60,000	60,000	60,000	60,000	
		実績値 (B)	56,748	58,603	46,841	到達目標値
		達成率 (B/A)	94.58%	97.67%	78.07%	65,000

成果指標設定の考え方・式や説明

利用人数が増えれば、市民が積極的に文化活動をおこなうと同時に市民間の交流が図られていると考えられる。

事務事業の評価	該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check	
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B

進行年度(H28年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	【平成28年度に取り組み改革改善内容】 ・減免規定見直し及び今後の消費税増税に向けた料金改定の準備をしていく。また、ホール等で使用できる備品の整備、料金設定に伴う例規の設定も行う。						

総合評価	・市民センターは、市の行事で大会、催事実施にはなくてはならない施設である。26年度は6万人弱の利用があったが、27年度は5万人弱の利用にとどまり激減した結果となった。原因を調査すると、ホールの利用については据え置きであるが、公民館活動を除く会議室や講習室等の小規模な部屋の貸館が例年の6割から7割の実績となっていた。今後は、利用促進に努める。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
------	---	---

平成29年度の方向性・取組目標	Action
方向性	拡充 ○ 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	【平成29年度当初予算要求の方向性】 ・平成28年度には、ハード整備としてエレベーター改修工事と和式トイレの洋式化を実施する。29年度以降は、貸館利用が多い部屋の雨漏り修繕、スプリンクラー等の消防設備の充実、停電用予備電源装置改修、非常放送設備の更新工事を年次的に実施して、施設の充実に努める。

事業の意図する成果となつてなる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、意図する成果指標に留意しながら

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	昭和62年度～		根拠法令・例規等	備前市市民センター及び備前市日生市民会館設置条例	
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	担当課(室)	生涯学習課
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち	職・氏名	館長 山口晋作
	小項目 施策	07	公民館・図書館機能の充実	電 話	0 8 6 9 - 7 2 - 1 0 0 6
事務事業名	02	市民会館運営事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		
対 象 (誰・何に対して)	文化活動やグループ活動団体・講座の参加者・貸館で利用する企業、個人、各種団体等	
目 的 (何のために)	文化や教養を高めるための機会や、各種会議、集会等で利用したい人々に場所を提供することを目的とする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	多種多様の目的で利用しやすい施設となるよう管理運営を行う。具体的には、市民の文化活動の拠点となった、老若男女問わず気軽に出入りできる雰囲気づくりをし、青少年健全育成や高齢者の生きがいを見いだせる施設となるよう努める。	

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	市民会館運営事業	日生地域公民館・図書館・ホールの複合施設を一括管理	◎

決算額	事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
	事業費	必要人員	千円	27,468 0.75人	29,522 0.86人	36,412 4,824
財源	事業費	計	千円	33,862	37,198	41,236
	国 県 支 出 金					
	受 益 者 負 担			645	970	611
	一 般 財 源			1,129	1,238	1,361
	受 益 者 負 担 比 率	%		1.9%	2.6%	1.5%
結果指標	結果指標名	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
	年間利用者	説明	市民会館年間利用者数			
	結果指標量		14,794	18,375	19,371	
	対前年比	%		124.2%	105.4%	
活動コスト	円	33,862,000	37,198,000	41,236,000		
単位当たりコスト	円	2,289	2,024	2,129		

事業の成果						
年間施設利用者	成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
	目標値(A)		18,000	18,000	19,000	20,000
	実績値(B)		14,794	18,375	19,371	到達目標値
達成率(B/A)		82.19%	102.08%	101.95%	20,000	

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C

進行年度(H28年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	本施設は、日生地域の文化活動やイベントそれに各種講座の様々な事業に使用されていて、地域の活性化に寄与している。このため引き続き効率的に維持管理を行うとともに老朽化した施設の利便性を高めることが課題となる。 なお、今年度は会館内のトイレの洋式工事に着手する。					

総合評価		
築30年以上経過し老朽化による不具合箇所が発生するなど大規模改修の必要が生じ平成24年度から平成27年度にかけて外壁工事を行った。今後も限られた予算の中で安全に関わる設備から計画的に改修を行っていく。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C	

平成29年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	将来的には類似施設の統廃合の可能性はあるが地域の必要な施設であることから当面は現状維持とし、平成29年度は昇降機(エレベーター)の改修を行い施設の延命化を図っていく。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、指標、その数値目標に留意しな

Plan

Do

Check

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和56年～	根拠法令・例規等	備前市公民館設置条例 社会教育法20条
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習・歴史・文化」	問 合 先	担当課(室) 生涯学習課(中央公民館) 職・氏名 主査 積野 康子 電 話 64-11133 このシート作成に要した時間 5.0 時間
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を褒められるまち		
	小項目 施策	07	公民館・図書館機能の充実		
事務事業名		03	中央公民館運営事業		

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	公民館活動の認定団体、定期講座の参加者、文化協会、地域活動を行っている人。	
目 的 (何のために)	学習・交流の場と機会の提供	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	地域文化及び市民の知識・文化・親睦の向上のため。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	中央公民館管理運営事業	文化事業の開催、各種団体等の連絡調整		◎
	文化協会活動補助金	備前・日生・吉永地域の文化協会に対する補助金		○
	県公民館等振興会市町村負担金	公民館活動の発展と振興を目的に職員研修、情報交換等の事業を行うための団体の負担金		▲
	県文化連盟会費	県内の様々な分野の文化団体、文化協会の運営に携わる公益法人、地方自治体等からなる社団法人の会費		▲
	中央公民館運営審議会事業	館長の諮問に応じ各種事業の企画実施について、調査審議する。		○
	市民講座	ルーシーダットン講座、折り紙講座、けん玉教室などの定期講座を開催		◎
	文化祭	備前市美術展覧会及び各種展覧会、発表会を開催。		◎
	市民講座参加人数	ルーシーダットン講座(開催回数:5回、参加人数:69人) 折り紙講座(開催回数:2回、参加人数:10人) けん玉教室(開催回数:3回、参加人数:19人) そば作り講座(開催回数:1回、参加人数:19人) 計(開催回数:11回、参加人数:117人)		

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	1,397	2,097	2,755
	必要人員	人	1.42人	1.85人	1.95人
	事業費	千円	12,907	15,619	15,756
	事業費	千円	14,304	17,716	18,511
	国 県 支 出 金	千円			
受 益 者 負 担 金	千円	112	129	20	
財 源	千円				
市 債	千円				
そ の 他 ()	千円				
一 般 財 源	%	14.192	17.587	18.491	
受 益 者 負 担 比 率	%	0.8%	0.7%	0.1%	

結果指標		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
主権講座参加者数	説明	中央公民館講座の参加者数			
結果指標	量		133	168	127
対前年比	%		-	126.3%	75.6%
活動コスト	円		14,303,000	17,716,000	18,511,000
単位当たりコスト	円		107,541	105,452	145,756

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A)		200	200	200	200
	実績値(B)		133	168	127	到達目標値
	達成率(B/A)		66.50%	84.00%	63.50%	200
成果指標設定の考え方・式や説明						
中央公民館の定期講座の参加者が増加すれば、学習・交流の場所と機会の両面を提供でき充実できる。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ<■←「コピー」して「貼り付け」してください>		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C	

進行年度(H28年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明				○					
説明		市の広報、HP等を活用して講座の参加人数を増やすと共に、市民の方からの情報にも応えるよう情報を蓄え、魅力ある講座開設を目指す。							

総合評価		総合評価
備前市文化事業鑑賞会の開催(ピアノ2件・講演1件)で参加人数が昨年よりかなり増加したが、定期講座の受講者自体は高齢化しているため、減少傾向にある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C

平成29年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標				○					
取組目標		文化活動を推進するため、新規講座を開拓、開設する。また、備前・日生・吉永各文化協会の自立を進めていく。							

事業の意図する成果となつてくる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、成果指標に留意しながら

Check

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和57年度～	根拠法令・例規等	備前市立公民館設置条例	
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 合 先	担当課(室)	生涯学習課
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を愛られるまち		職・氏名	館長 山口晋作
	小項目 施策	07	公民館・図書館機能の充実		電 話	0 8 6 9 - 7 2 - 1 0 0 6
事務事業名		04	日生地域公民館運営事業	このシート作成に要した時間		2.0 時間

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	市内在住者、市内事業所に勤務している人及び公民館を利用している人	
目 的 (何のために)	地域住民の生涯学習の中核として、様々な学習の機会や活動の場を提供するとともに、自発的な活動を奨励し、地域社会の形成や文化の振興を図ること。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	公民館の文化講座を通じて日生地域を中心とする地域住民の親睦が深まり、各種グループ活動を通じて得たものが地域社会に浸透し、地域文化の発展及びまちづくりにつながっていくこと。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	地域公民館運営事業	日生地域公民館	▲
	市民講座	備前市内の住民を対象の講座等を企画・開催		◎
	文化祭	日生文化祭の企画・開催		○
	市民講座参加人数	底引き漁体験 (開催回数: 1回、参加人数: 12人)		
		パン作り講座 (開催回数: 1回、参加人数: 9人)		
		和菓子づくり講座 (開催回数: 1回、参加人数: 12人)		
		おせち料理作り講座 (開催回数: 1回、参加人数: 15人)		
		そば打ち講座 (開催回数: 1回、参加人数: 18人)		
		星空観望会 (開催回数: 5回、参加人数: 述べ65人)		
		英会話教室 (開催回数: 12回、参加人数: 述べ76人)		
	こども陶芸教室 (開催回数: 1回、参加人数: 14人)			
	計 (開催回数: 23回、参加人数: 221人)			

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	1,510	1,677	1,349
	必要人員	人	1.46人	0.83人	1.38人
	事業費	千円	12,236	7,326	11,291
	国県支出金	千円	13,746	9,003	12,640
	受益者負担	千円	107	75	97
財源	千円				
一般財源	千円	13,639	8,928	12,543	
受益者負担比率	%	0.8%	0.8%	0.8%	

結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	講座等延べ参加数	説明	日生地域公民館の講座等参加人数 (延べ人数)		
	結果指標量		283	232	222
	対前年比	%	-	82.0%	95.7%
	活動コスト	円	13,746,000	9,003,000	12,640,000
単位当たりコスト	円	48,572	38,806	56,937	

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値 (A)		400	400	400	400
	実績値 (B)		287	232	222	到達目標値
	達成率 (B/A)		71.75%	58.00%	55.50%	400
成果指標設定の考え方・式や説明						
利用人数が増えることにより、市民が積極的に文化活動・グループ活動を行い交流を図っている。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法 (派遣・委託含) を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

進行年度 (H28年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	地域の実情と学習ニーズを把握した公民館講座を開設し、募集定員の充足率の向上を図る。						

総合評価		総合評価
地域の文化振興に必要な事業ではあるが、少子高齢化、人口減少の影響や、公民館活動への参加者の固定化が進んでいるため、現在の活動を維持しつつも、地域住民のニーズをとらえ、幅広い年齢層をターゲットにした新ジャンル開拓の必要がある。		ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		C

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	誰もがいつでも学べる生涯学習施設として、若年層にも魅力のある講座の企画を検討し地域に密着した公民館を運営していく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標に留意しながら

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和62年～	根拠法令・例規等	社会教育法第20条 備前市立公民館設置条例
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習・歴史・文化」	問 合 先	生涯学習課
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を褒められるまち		
	小項目 施策	07	公民館・図書館機能の充実		
事務事業名		05	吉永地域公民館管理運営事業	職・氏名	主査・中原静枝
				電 話	84-3839
				このシート作成に要した時間 4.0 時間	

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	市内在住者、市内事業所に勤務している人及び公民館を利用している人	
目 的 (何のために)	生涯学習・文化活動の拠点とし、市民のニーズに対応するための学習の機会と場所の提供を行うため、施設の保守維持管理を行うとともに、幅広い世代を対象とした講座等を開催し、住民の教養及び情操教育の向上に努め、その知識を活用した新たな自主活動グループを開設する指導者の育成を目指す。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	生涯学習・文化活動の拠点とし、場所の提供を行うため、施設の保守維持管理及び講座生の増加・指導者の育成	

事業の実績		Do
細 事 業 名	事業の説明	優先度
吉永地域公民館管理運営事業	施設の運営・維持管理・貸館業務	○
市民講座	市民講座・文化活動の地域拠点として、講座を企画・運営 市民に学習の機会を提供する。	○
文化祭	吉永文化祭の企画・運営	▲
目的を達成するための実施した事業		
市民講座参加人数	あすなる講座（開催回数：8回、参加人数：372人）	
	むつみ学級（開催回数：6回、参加人数：128人）	
	親子料理教室（開催回数：1回、参加人数：9人）	
	和菓子づくり教室（開催回数：1回、参加人数：8人）	
	エコクラフト教室（開催回数：1回、参加人数：6人）	
	計（開催回数：17回、参加人数：523人）	

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	8,883	8,527	8,275
	必要人員	人	1.67人	2.01人	1.39人
	事業費	千円	22,557	22,585	16,419
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	329	347	257
財源	千円				
繰入金	千円				
市債	千円				
その他（財産収入・諸収入）	千円	420	479	507	
一般財源	千円	21,808	21,759	15,655	
受益者負担比率	%	1.5%	1.5%	1.6%	
結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	利用者数	説明	吉永地域公民館総利用者数		
	結果指標量	人	12,695	13,058	12,450
	対前年比	%	-	102.9%	95.3%
	活動コスト	円	22,557,000	22,585,000	16,419,000
単位当たりコスト	円	1,777	1,730	1,319	

(平成27年度事業)

事業の成果	成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
吉永地域公民館年間利用者数	目標値 (A)		15,000	15,000	15,000	15,000
	実績値 (B)		12,695	13,058	12,450	到達目標値
	達成率 (B/A)		84.63%	87.05%	83.00%	15,000

成果指標設定の考え方・式や説明

利用人数が増えることにより、市民が積極的に文化活動・グループ活動を行い交流を図っていると考えられる。

事務事業の評価		Check
妥当性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度（H28年度）の改革改善内容	
状 況	拡充 ○ 現状継続 ○ 見直し ○ 縮小 ○ 整理統合 ○ 休止 ○ 廃止・完了 ○
説 明	公民館を快適に利用していただくため、トイレの洋式化を行う。 引き続き維持管理をしながら運営をし、現在の活動を維持しながら中央・日生・各地区公民館と連携し、地域の々々（幼児～高齢者まで）が参加できる魅力ある事業・講座を開催していく。

総合評価	
2月14日、第3回備前市文化事業鑑賞会「高橋美香とダンケ！」コンサートを吉永地域公民館で開催し、多くの地元の方々に音楽と触れ合う時間を持っていただいた。 中学校の文化祭が本年度は学校で開催されたためか、年間利用者数は600名程度減ってしまった。 3月に「エコクラフト教室」を開催したが、新規のグループ活動として登録をしていただき、28年度より毎月2回活動を行うことになった。 備前市行財政改革プランに基づき減免基準の見直しを行った。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

平成29年度の方向性・取組目標	
方 向 性	拡充 ○ 現状継続 ○ 見直し ○ 縮小 ○ 整理統合 ○ 休止 ○ 廃止・完了 ○
取 組 目 標	コスト削減を意識しながら、中央・日生・各地区公民館と連携し、魅力ある事業・講座を開催していく、地域づくりの拠点となるよう検討・運営をしていく。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、指標、その数値目標に留意しな

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等 備前市自治公民館・集会所等施設整備事業補助金交付要綱	備前市自治公民館・集会所等施設整備事業補助金交付要綱	
事業開始年度	昭和59年度～			
総合計画 大項目 基本構想	02			自己実現政策「生涯学習・歴史・文化」
中項目 基本計画	02			自分を磨ける・自分を変えられるまち
小項目 施策	07	公民館・図書館機能の充実		
事務事業名	06	自治公民館等整備事業		
問合先	担当課(室)	生涯学習課(中央公民館)		
	職・氏名	主査 丹羽 弘子		
	電話	64-1133		
	このシート作成に要した時間	1.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	備前・吉永地域の自治公民館、集会所等
目 的 (何のために)	自治公民館・集会所等の新築、維持管理費の負担を軽減させるため。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	地区社会教育活動の拠点施設としての充実、発展の一助となる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細 事 業 名	事 業 の 説 明	優先度
自治公民館等整備事業	自治公民館の新築費、維持管理費の一部を補助金として交付	◎
	H23 18件 8,526千円	
	H24 16件 4,022千円	
	H25 15件 8,506千円	
	H26 13件 4,181千円	
	H27 16件 5,433千円	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
		目標値 (A)	15	14	15
補助件数	実績値 (B)	15	13	16	到達目標値
	達成率 (B/A)	100.00%	92.86%	106.67%	(到達率 100% 目標達成率 95%)

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B	

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

進行年度 (H28年度) の改革改善内容							
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説 明	H28.5末現在、当初要望14件(備前13、吉永1)のうち、申請11件(備前10、吉永1) 辞退1件、新規1件。 次年度分は、10月までに各自治公民館の要望調査を行い予算計上						

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	8,506	4,193	5,433
	必要人員	人	0.11人	0.11人	0.57人
	事業費	千円	9,501	5,220	7,685
	国 庫 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担 金	千円			
	財 源 市 債	千円			
一 般 財 源	千円	9,501	5,220	7,685	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

総合評価	
・結果指標や成果指標に基づいて3ヶ年間の推移を振り返り、記載してください。 ・過去3年度の計画や目標達成率プランに基づいて平成27年度の達成率を振り返り、記載してください。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい

結果指標		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
補助件数	説明	実施件数	15	13	16
結果指標量			15	13	16
対前年比	%		-	86.7%	123.1%
活動コスト	円		9,501,000	5,220,000	7,685,000
単位当たりコスト	円		633,400	401,538	480,313

平成29年度の方向性・取組目標							
方 向 性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取 組 目 標	・平成28年度当初予算案の方向性について記載してください。 ・平成28年度以降の取組目標を記載する場合には、平成28年度以降であることを明記したうえで記載してください。						

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和49年度～	根拠法令・例規等	社会教育法 備前市立公民館設置条例
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 合 先	担当課(室) 生涯学習課(中央公民館) 職・氏名 主査 積野 康子 電 話 64-1133 このシート作成に要した時間 4.0 時間
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち		
	小項目 施策	07	公民館・図書館機能の充実		
事務事業名		07	地区公民館運営事業		

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	市内13地区に在住の住民	
目 的 (何のために)	地区住民のニーズを取り入れた特色のある講座、教室等を企画して学習発表の場を提供する。広報、市ホームページ等を活用して公民館活動を積極的にPRする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
地区公民館管理運営事業	施設整備を行うことにより、利用者に最適な生涯学習の場を提供する。	◎
地区公民館運営審議会事業	運営審議会は、館長の諮問に応じ、各種事業の企画実施について調査審議する。	○
地区文化祭運営事業	地区住民の文化向上に資することを目的とした事業。	○
地区体育祭運営事業	地区住民の健康の増進を図ることを目的とした事業。	○
地区社会体育事業	スポーツ活動を通じて、地域コミュニティの育成を目的とした事業。	○
西鶴山公民館	利用人数：6,857人	
香登公民館	利用人数：11,562人	
伊部公民館	利用人数：10,969人	
片上公民館	利用人数：6,457人	
伊里公民館	利用人数：10,928人	
東鶴山公民館	利用人数：7,855人	
三石公民館	利用人数：4,650人	
日生西公民館	利用人数：1,826人	
日生東公民館	利用人数：6,708人	
日生南公民館	利用人数：747人	
三園公民館	利用人数：1,538人	
神根公民館	利用人数：6,721人	
和意谷公民館	利用人数：135人	

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	43,984	44,828	44,274
	必要人員	人	0.59人	0.59人	1.90人
	事業費	千円	49,220	50,084	54,356
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	1,182	1,159	1,080
財源	千円				
繰入金	千円				
市債	千円				
その他()	千円	586	251	670	
一般財源	千円	47,452	48,674	52,606	
受益者負担比率	%	2.4%	2.3%	2.0%	

結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	結果指標量	説明 地区公民館(13館)を利用した人数	77,514	79,357	76,953
	対前年比	%	-	102.4%	97.0%
	活動コスト	円	49,220,000	50,084,000	54,356,000
	単位当たりコスト	円	635	631	706

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A)		80,000	90,000	90,000	90,000
	実績値(B)		77,514	79,357	76,953	到達目標値
	達成率(B/A)		96.89%	88.17%	85.50%	90,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
地区公民館(13館)を利用した人数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ<■←「コピー」して「貼り付け」してください>	Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H28年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況	拡充		○						
	現状継続			○					
説明		公民館活動の利用者は、現状を維持し、増加する工夫が必要である。また、市民窓口課業務等の一旦を担うため、今年も準備が必要になってくる。							

総合評価		総合評価
公民館の利用は、主に文化芸術が中心となるが、今後利用を増やすためにどんな講座をしたいかアンケート等を実施し、今後さらに利用が増えるよう工夫し、利用者の拡大を目指す。		A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 い
		B

平成29年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性	拡充		○						
	現状継続			○					
取組目標		文化活動をさらに推進するため、新規講座の開拓を目指し、備前・日生・吉永の文化協会の自立も進める。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		昭和62年度～	根拠法令・例規等	図書館法 備前市立図書館設置条例 備前市立図書館設置条例施行規則
事業開始年度	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問	担当課(室) 生涯学習課(中央公民館)
大項目 基本構想	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち	合	職・氏名 主査 福本 浩子
中項目 基本計画	07	公民館・図書館機能の充実	先	電 話 64-1134
小項目 施策				このシート作成に要した時間
事務事業名	08	図書館運営事業		時間

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	市内・近隣市町村(赤穂市・上郡町)に在住している人または市内に通勤・通学している人	
目 的 (何のために)	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保有して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市民の全てが、教養、調査研究、レクリエーション等のために図書館を利用し、心豊かに生きがいのある生涯学習を行ってもらうため。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	図書館運営事業	市民に最も身近な図書館として地域の人々に読書をはじめとする情報サービスを提供し、人々が知識や情報を得たり、レクリエーションを楽しめるように助けることを目的とした事業。図書館利用者に対し、貸出・リクエスト・相互貸借・主催事業(読み聞かせ会や講座等)・レファレンス(各種問い合わせ)などの館内でのサービスの業務のほか、来館困難な遠方利用者への図書の移動図書館車巡回サービス、絵本を通しての親子の触れ合いの大切さを説明し、乳児に絵本を手渡すブックスタート事業など。また、そのための図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存等の情報資料整備業務も行う。	◎
	細事業名	県図書館協会負担金	岡山県立図書館をはじめとする公共・大学・学校・専門図書館・公民館を中心に組織された協会で、図書館事業の発展ならびに会員の資質向上を図り、県民の教養・文化の向上に寄与するため、図書館に開催のある調査研究や、講演会、講習会等の開催などの事業を行う。	○

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	18,910	13,642	13,724
	必要人員	人	1.29人	1.20人	1.58人
	事業費	千円	10,450	9,798	11,773
	事業費	千円	29,360	23,440	25,497
	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担	千円	15	24	28
	財 源	千円			
	繰 入 金	千円			
	市 債	千円			
	その他()	千円	20	24	
一 般 財 源	千円	29,325	23,392	25,469	
受 益 者 負 担 比 率	%	0.1%	0.1%	0.1%	

結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	年間貸出実績	冊	100,538	92,378	89,118
	結果指標	量	100,538	92,378	89,118
	対前年比	%	-	91.9%	96.5%
	活動コスト	円	29,360,000	23,440,000	25,469,000
単位当たりコスト	円	292	254	286	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成27年度事業)

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	成果指標	目 標 値 (A)	3.7	3.5	3.5	3.5
	実績値 (B)	2.7	2.5	2.5	到達目標値	
	達成率 (B/A)	72.97%	71.43%	71.43%	3.8	
成果指標設定の考え方や説明						
岡山県公共図書館調査(岡山県図書館協会)平成27年度(実績は26年度分)によると奉仕人口1人あたりの貸出冊数の平均は5.6冊。現状現状をふまえて3.5冊を目標とする。図書1人あたりの貸出冊数=貸出冊数/人口 36,211人(2016.3.31)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

事業の目的、指標、その数値目標に留意しな

進行年度(H28年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況				○					
説明		図書館の利用人数はゆるやかに減少しているため、市民のニーズにあった図書や特徴ある図書を購入していくとともに、レファレンス等の充実を図り、より市民が利用しやすい環境を整えていくことが必要。また、図書館システムを更新し、検索や予約がスムーズにできるようにすることが必要。							

総合評価		総合評価
図書館の予約(リクエスト)件数・レファレンス(問い合わせ)はともに減少傾向にあるため、より良いサービス提供を行うため様々な情報の収集に努めるとともに、市民が図書館を利用しやすいよう図書館システムの充実を図る。また、利用者を増やすために図書館のPRにも一層力を入れる。	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C

平成29年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性				○					
取組目標		近隣図書館が新設されていく中で、備前市の情報拠点としてどのような図書館を目指すか、現状の課題について検討し、図書館基本構想を作成していきます。その中で多様化する市民ニーズに応えるため必要な資料を収集し、利用利用の拡大を図ります。読書推進活動やレファレンスサービスの充実、市民にとって最適な図書館運営を目指します。							

Action

備前市事業事業評価シート

事業の概要
事業開始年度: 昭和46年度~
大項目 基本構想 02: 自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」
中項目 基本計画 02: 自分を磨ける・自分を愛えられるまち
小項目 施策 07: 公民館・図書館機能の充実
事務事業名 09: 視聴覚ライブラリー

事業の目的
対象 (誰・何に対して): 視聴覚教材を使用し視聴覚教育を行う市内の団体
目的 (何のために): 参加者の学習意欲の向上を支援する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか): 本事業が広く周知され、視聴覚教育振興の活性化に貢献する。

事業の実績
細事業名: 視聴覚ライブラリー運営事業, 県AVL連絡協議会負担金
事業の説明: 学校教育及び社会教育に関する視聴覚教材の貸出, 県内の地域視聴覚ライブラリーと連携を図り、担当者研修会等を行う。
優先度: ◎, ○

事業費等
事業費: 257, 284, 131
必要人員: 0.06人, 0.04人, 0.02人
事業費計: 785, 693, 279
国県支出金: 785, 693, 279
受益者負担金: 0, 0, 0
結果指標: 貸出し延団体数, 結果指標量, 対前年比, 活動コスト, 単位当たりコスト

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

Plan

Do

(平成27年度事業)

事業の成果
成果指標名: 視聴覚教材の貸出団体(延)数
年度: 平成25年度, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度目標値
目標値(A): 100, 100, 100, 70
実績値(B): 65, 62, 55, 到達目標値
達成率(B/A): 65.00%, 62.00%, 55.00%, 100

事務事業の評価
妥当性の評価: 市の関与の必要性 (D)
効率性の評価: コスト (D)
有効性の評価: 目的達成度, 市民参画度 (D)

進行年度(H28年度)の改革改善内容
状況: 拡充, 現状継続, 見直し, 縮小, 整理統合, 休止, 廃止・完了
説明: 視聴覚教材・教材等については、DVD教材等を購入する。AV機器の進歩で生産中止等で補修できないもの、教材内容が時代に即してないもの、耐用年数が過ぎ劣化が著しいもの等は、使用頻度の高いも優先し更新する。16ミリフィルムのデジタル化を検討。

総合評価
現在のAV機器の充実、インターネット等の情報取得方法の多様化、機器の劣化等により、教材・教具の貸出は年々減少している。利用者ニーズに応えるためには機器進歩に対応した教材、時代内容に即した教材の充実を図る必要がある。(D)

平成29年度の方向性・取組目標
方向性: 拡充, 現状継続, 見直し, 縮小, 整理統合, 休止, 廃止・完了
取組目標: 教材を16ミリフィルム、VHSテープからDVDへ移行していく。教材内容が時代に即してないもの、耐用年数が過ぎ劣化が著しいもの等は、使用頻度の高いもの、資料として残すべきものを除き、これを処分する。経年劣化した機器等については更新等を検討する。

事業の目的、成果指標に留意しながら数値目標を設定

Check

Check

Check

Check

Check

Check

Action